

信州大学医学部附属病院 消化器内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2023年6月16日

「消化管原発濾胞性リンパ腫における小腸内視鏡検査の必要性についての検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5885
研究課題名	消化管原発濾胞性リンパ腫における小腸内視鏡検査の必要性についての検討
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院 内視鏡センター
研究責任者(職名)	橋上 遣太(医員)
研究実施期間	医学部長による許可日～2025年4月30日
研究の意義、目的	消化管原発濾胞性リンパ腫における小腸内視鏡検査の必要性について検討することで、侵襲度の高い内視鏡検査の頻度を再考し、患者さんに負担の少ないフォローアップ計画を提案することができる可能性がある。
対象となる方	2003年10月1日～2022年4月30日までに当院で内視鏡を実施した消化管原発濾胞性リンパ腫と診断された方。
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、小腸内視鏡検査、上下部消化管内視鏡検査、CT、PET-CTの各種画像所見、消化管及び骨髄生検の結果。
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し消化管原発濾胞性リンパ腫における小腸内視鏡検査の必要性について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 橋上遣太(医学部附属病院内視鏡センター・医員) 電話: 0263-37-2634

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。